

成果目標

全国の道路行政において、事業におけるアカウンタビリティ（事業の透明性や説明責任）の向上を推進するため、現状課題を定量的に捉えて成果目標を具体的な数値で示す「成果志向の道路行政マネジメント」への取り組みが始まっています。

山口県では4つのテーマと8つの指標の目標値を掲げ、道路利用者の方々に実感していただける「業績計画書」として整理しています。

や

8つの広域生活圏を網羅するネットワークを整備します。

広域交流を進めるみちづくりの指標

- 1 高速IC30分圏人口カバー率
どれくらいの人が高速道路へ快適にアクセスできるか？

待ちの無いスムーズで安全な移動を目指します。

地域の自活を支えるみちづくりの指標

- 2 渋滞損失時間
渋滞によってどれだけの時間が失われるのか？
- 3 圏域中心都市30分圏人口カバー率
どれだけの人が町の中心に快適にアクセスできるか？
- 4 要防災対策箇所解消率
事業によって要防災箇所はどれくらい解消したのか？

ぐっときれいに、快適に。人と自然との共生を図ります。

人と自然を大切にすみちづくりの指標

- 5 死傷事故率
死傷事故が引き起こされる確率は？
- 6 歩道設置率
どのくらいの道路に歩道が設置されているか？
- 7 CO₂排出量(自動車交通)
県内の道路ではどのくらいのCO₂が排出されているのか？

中心に人あり。皆さんのニーズをみちづくりに反映します。

県民参加のみちづくりの指標

- 8 道路利用者満足度
山口の道路は5点満点で評価したら何点か？

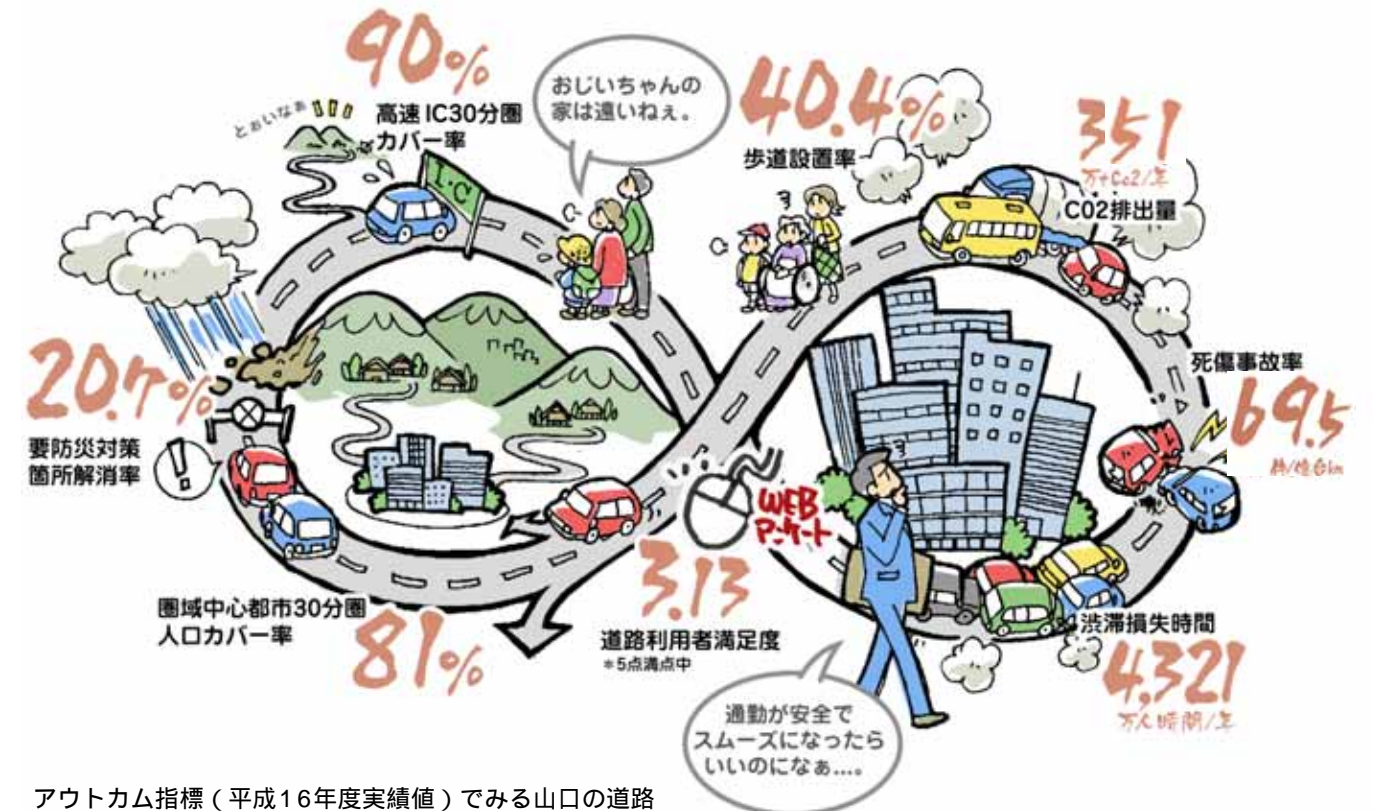
山口県
業績計画書

数値でわかる事業目標[アウトカム指標]

道路に関する諸問題を数値で表すことで、道路の現状と改善の目標を明らかにします

例えば山口県における渋滞の問題を「渋滞損失時間」というアウトカム指標で表すと、年間4,321万人時間（一人当たり29時間）が失われていることとなります。この業績計画では、平成19年までに、これを年間4,104万人時間（一人当たり27時間）に削減することを目標としています。

このように、本計画書では従来わかりにくかった事業目標を、アウトカム指標として数値化し示することで、よりわかりやすいものとする工夫をしています。



アウトカム指標（平成16年度実績値）でみる山口の道路

目次

1. 業績計画書とは？	01 ~ 04
2. アウトカム指標と目標値	05 ~ 08
3. 目標達成に向けての取り組み	09 ~ 26
広域交流を進めるみちづくり	
地域の自活を支えるみちづくり	
人と自然を大切にすみちづくり	
県民参加のみちづくり	
4. 参考資料	27 ~ 30
関連指標	
平成17年度供用予定事業	
用語説明	